

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日(当事業年度の中間配当の予定はございません)
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.fujipream.co.jp)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料)

ご注意

- 1 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フジプレミアムと社会を結ぶ情報誌

PRE【プレ】

フジプレミアムの「プレ」は、「先駆ける」、「アム」は「存在」という意味が込められています。この「プレ」をタイトルにした株主通信は、株主の皆様にも適切な経営情報を先駆けてお届けし、フジプレミアムと社会との関わりを分かりやすくお伝えするとともに、当社が誇る技術や将来性などをご紹介してまいります。



特集

各部門別第2四半期のご報告

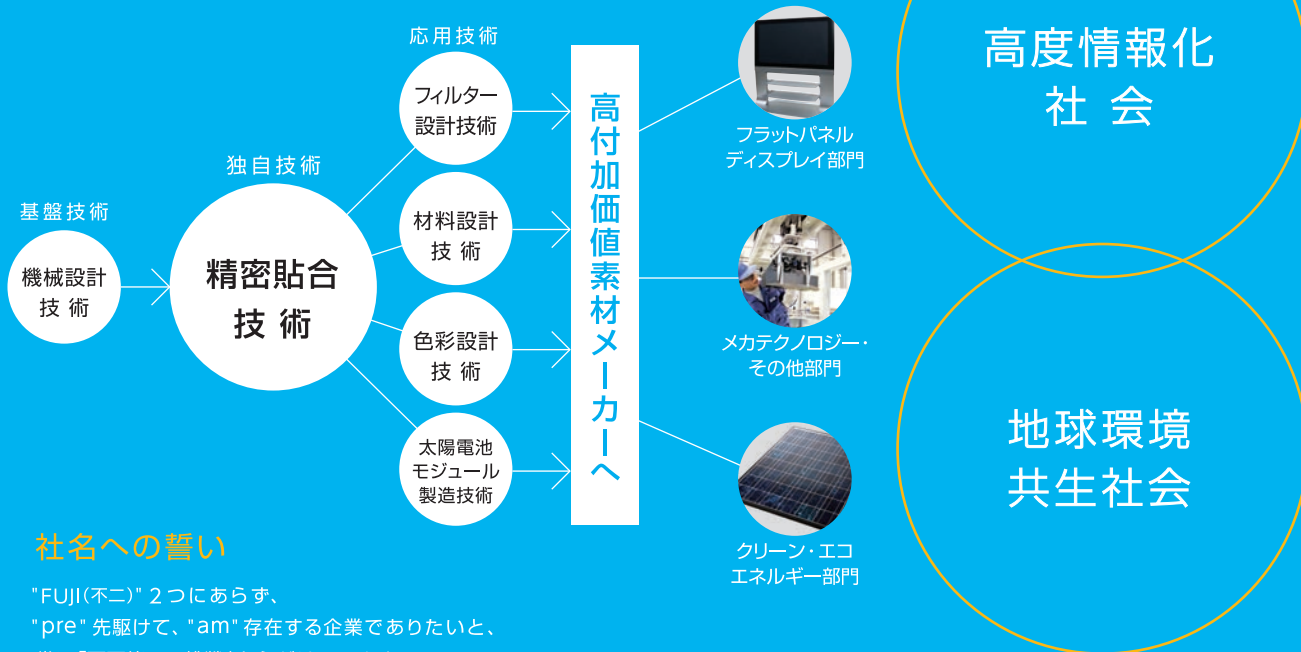
振り返る、そして前を見据える。

不可能への挑戦

フジプレミアムは「不可能への挑戦」を掲げ、未来を切り開く研究開発型企业です。

経営ビジョン

フジプレミアムは、精密貼合技術を活かし、新たな価値を創造する素材メーカーを目指します。



社名への誓い

"FUJI(不二)" 2つにあらす、
"pre" 先駆けて、"am" 存在する企業でありたいと、
常に「不可能への挑戦」を心がけています。



光都PV工場

100年先の暮らしを照らすため、自らに与えられた使命を果たす。
「共存・共生・共産」の理念で、住みよい社会づくりを目指します。

27年の歳月の中で得た技術や研究開発力で社会に大きく貢献。
そのためにも生命線である生産ラインの研鑽に力を注ぎます。



株主・投資家の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、フジプレミアムグループの事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第28期(平成22年3月期)第2四半期報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループは、自動包装機械の製造販売をモノづくりのスタート拠点として歩み始め、現在28期目の事業に取り組んでおります。この27年余りの歳月を経た中で、幾度か訪れた大きなチャンスを独自の技術や研究開発力によって、逃すことなく自らの力と変えてまいりました。現在では、その力がフラットパネルディスプレイ(FPD部門)、クリーン・エコエネルギー部門を形成しており、FPD部門におきましては各メーカーにおいて当社のコア技術である精密貼合技術が広い範囲で必要とされるまでになり、クリーン・エコエネルギー部門においても、いよいよ自社ブランドの太陽電池モジュールを国内市場に投入する体制が整い、また新たな局面を迎えております。2020年までに1990年比CO₂削減25%を達成するために、当社は固定観念にとらわれない様々な提案を検討しております。

両部門とも、需要に対する供給責任は、企業としての使命でもあります。必ず達成するため、設備、ライン、技術など常に投資を行い、着実に実現しお応えしてまいります。

経営理念

「人」は「財」なり、「財」は「人」作りなり
創意、継続は大いなる「財」なり
自然は大いなる「恵」なり。
全てに対して大いなる「感謝」

今後とも、あたたかいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 松本 實藏

各部門別第2四半期のご報告

フラットパネルディスプレイ部門

- ▶PDP用光学フィルター
- ▶フィルムフィルター
- ▶液晶偏光板フィルム



クリーン・エコエネルギー部門

- ▶太陽電池モジュール
- ▶太陽光発電応用商品 (避難誘導灯、LED照明灯[ソルファール])
- ▶フィルムラミネートガラス、その他応用商品



メカテクノロジー・その他部門

- ▶産業用包装・梱包機械システム (全自動ケーサー、セットアップパレタイザー、各種検査集積コンベア等)
- ▶梱包・包装資材

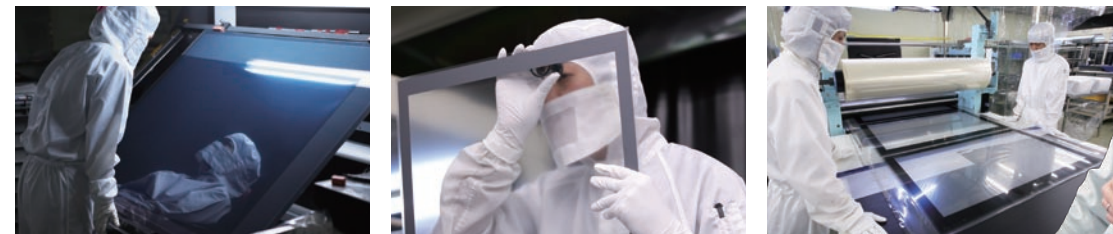


振り返る、そして前を見据える。



メカテクノロジー部門が生産に関する地盤を固め、その上に売り上げの大部分を占めるフラットパネルディスプレイ部門と、成長著しいクリーン・エコエネルギー部門が与えられた課題を確実に達成する。こうした万全の体制こそが、現在のフジプレアムを形成する力となっています。今回は第2四半期として各部門の担当者がこれまでを振り返り、そしてこれからについてご報告いたします。ぜひご一読ください。

フラットパネルディスプレイ部門



大型PDPでは、フジプレアムの技術が活躍。より大きく、より美しくというニーズに応えます。

フラットパネルディスプレイ部門担当 常務取締役 松本 倫長

PDP用とLCD用、二つの主要事業のもと更なる成長を目指す。

フラットパネルディスプレイ部門には、主にPDP(プラズマディスプレイ)用光学フィルターの製造を手掛けるファインテック事業部と、主にLCD(液晶ディスプレイ)用液晶偏光板フィルムの製造を手掛けるアドヴァンテック事業部があります。その中でファインテック事業部が、これまでのメインであるPDP用に加えて、LCD用の「加飾フィルター」も手掛けるようになりました。

この「加飾フィルター」はその名の通り、ガラスやフィルムに特殊な印刷を施すことでデザイン性を加味し、付加価値を高めたもの。来年以降、主要家電メーカーがこぞってテレビに採用すると予想されています。精密貼合技術に加えて、印刷技術に関する知識も必要とされるためスペック的に難易度が高まりますが、LCD市場はPDP市場と比較してはるかに大きいため、今後の主要事業としての成長が期待されています。

フラットパネルディスプレイ部門は、今年に限ればほぼ計画通りに目標が達成できています。エコポイントなど業界に吹く追い風をうまく活かしながら、今後もフジプレアムにしかできない新たな取組みに挑戦し続けます。

より大きく、より小さくという幅広いニーズに万全の体制で臨む。

その他の動きとしては、PDP用では、ディスプレイの大型化が挙げられます。第1四半期から第2四半期までの短期間でも大型化の動きが顕著に見られます。今後、デジタルサイネージ(電子看板)の本格実現化に伴い、150インチまで大型化すると予想されています。一方でLCD用は、より一層の多様化の方向指向が高まり、フジプレアムの精密貼合技術の存在感が一層高くなっていくこととなります。つまり、より大きくというニーズに応えられる数少ない国内メーカーとして、フジプレアムは存在感を発揮していくこととなります。

そのためには生産ラインの見直しが必須となりますが、これは今に限らず常に継続して行っていることです。特にフラットパネルディスプレイの分野は技術の移り変わりが激しく、2年同じラインで同じ製品が作られるということはありません。自社内設備の比率も高いため、自らの努力で何らかの変化を加えていかなければ、市場のニーズにスピーディに対応することが難しくなります。その動きはますます顕著になると思われますが、元来メカテクノロジーに強い社風を大いに活かしてまいります。

各部門別第2四半期のご報告 ～振り返る、そして前を見据える。～

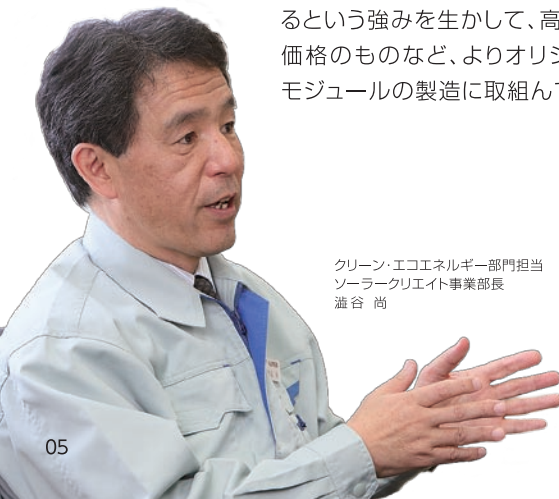


クリーン・エコエネルギー部門

国内市場の活況に奮ることなく、強みを活かして独自性を磨く。

最近、国内市場、特に個人住宅用の太陽光発電システムの販売が活況です。7月から9月の第2四半期で前年同期比31%増という話もあり、3四半期ぶりに過去最高を記録しました。フジプレアムのクリーン・エコエネルギー部門も10月から個人住宅用の市場に本格参入しており光都工場でフジプレミアムソーラーフェアを開催。非常に好評を博し、当初100名程度と予想していた来場者数を大きく上回り、300名以上の方にお越しいただきました。こうした製造現場の見学は大手メーカーも行っておらず、その試みが大きな反響を呼びました。売り上げに反映されるのはまだ先ですが、良いスタートを切ることができています。

フジプレミアムはこうした個人住宅用の標準型モジュールだけでなくとどまることなく、すでに大手建材メーカー様と共同で、屋根の瓦に代えて屋根一体型モジュールを設置する計画を立ち上げるなど更なる可能性を探っています。また、あらゆるセルメーカーから最適なものをご購入できるという強みを生かして、高出力のもの、低価格のものなど、よりオリジナル性の高いモジュールの製造に取り組んでいます。



クリーン・エコエネルギー部門担当
ソーラークリエイト事業部長
滝谷 尚



フジプレミアム光都PV工場の屋根には200KWの太陽電池モジュールを搭載。



住宅用太陽電池モジュールの大量出荷を目前に、増産体制を構築中。

着々と進められた準備段階を経て、いよいよ飛躍のステージへ。

海外市場に目を向けると、第1四半期は特にヨーロッパ市場においてメガソーラー建設計画の延期など厳しいものがありましたが、第2四半期に入って徐々に回復傾向にあります。

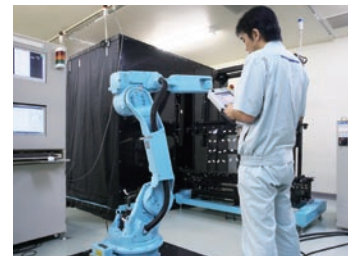
一方でアメリカ市場においては、カリフォルニアのソーラーパワー・インターナショナルに出展。昨年比で出展者数も来場者数も倍を記録するなど、太陽光発電システムに対する注目度の高さを実感できる結果となりました。2008年の需要量に対して、2012年には7倍にまで成長するという予想もあり、フジプレミアムも販売の認証を申請するなど本格参入を視野に入れています。ただし、カドミウムテルルなどの廉価なモジュールが主流となっており、価格競争が激しいため、その中でいかにフジプレアムの強みを発揮するかを検討しているところです。

以上のように、クリーン・エコエネルギー部門において第1四半期、第2四半期は更なる発展のための準備期間となりました。売り上げ数字的には厳しいものになりましたが、今後大いに期待していただければと思います。

メカテクノロジー・その他部門



高度な生産技術により、2つの事業を支える新規生産技術開発センター。



お客様の様々な要求に応える生産体制と歩留まりの高い生産ラインを構築し、フジプレアムの製造現場を支える。



メカテクノロジー・その他部門担当
新規生産技術開発センター
技術部長 杉本 正則



一歩先行く生産体制を構築し、各部門の目標達成に貢献する。

第1四半期に姫路工場におけるガラスフィルター生産ラインの立ち上げ・フィルムフィルター生産ラインの開発および工場増設計画・新用途ソーラーパネルトラッキングシステムの開発ならびにフィールドテストなどを実施。第2四半期にはフィルムフィルター生産ラインの構築・新用途ソーラーパネルトラッキングシステムの量産化に向けての検討、そして今期のメインテーマとして掲げている高スループット太陽電池モジュール生産ラインの開発検討を行いました。

日々変化する企業環境の中、次々生まれる新たなテーマにも迅速に対応し、常に一歩先行く生産体制を構築するための技術開発に取り組んでいます。これにはトップダウン体制と新規生産技術開発センターの存在が大きく影響しています。的確な判断のもと研究開発部、新規事業部、メカテック事業部が一体となって情報交換を行い、不可能と思えるような目標に対して、柔軟な発想と強い意志をもって臨んでいます。

「不可能への挑戦」の精神で、さまざまな難題に取り組む。

今後のビジョンは、常にスピードとコストを要求されるフラットパネルディスプレイ部門においては、従来からのPDP用の光学フィルターにLCD用の加飾フィルターを加え、更なる生産効率の向上に向けた生産設備の開発・改善に取り組めます。また、クリーン・エコエネルギー部門においては、引き続き新用途ソーラーパネルトラッキングシステムの量産化と、高スループット太陽電池モジュール生産ラインの早期構築に向けて取り組めます。

一方、社外からのライン設備受注に関してはこの不況で受注量は極端に落ち込み苦戦を強いられておりますが、その中でも医薬・製薬・試薬関係は堅調に売り上げを伸ばしており、新たな設備投入の引き合いもあるため、引き続き受注に向け活動いたします。

いずれにしてもこうした数々の取り組みは、フジプレミアムがモットーとしている「不可能への挑戦」の精神がなくては達成できません。経営地盤を支える要であるという責任を胸に、今後も挑戦を続け、目標の早期達成に努めます。

上海不二光学科技有限公司に「社会貢献プロジェクトチーム」が誕生

創立6周年を機に「企業文化」の創造に着手。「社会貢献」することで愛される会社を目指します。

去る、9月16日(水)に上海不二光学科技有限公司は6回目の創業記念日を迎えることができました。それを機に、企業としてこれから何ができるのか、何をすべきかを考え「企業文化」の創造と、その精神に基づいて「社会貢献」することが必要と判断。現地スタッフ4名からなる「社会貢献プロジェクトチーム」を発足しました。

その第一の取組みとして、創立記念日の翌日、「小学校への学用品などの寄付」を実施。援助を必要としていた民間(NGO)の「青浦隱賢小学校」に、子供用、父母用の冬物衣料208着(従業員持ち寄り)や、各種文房具、サッカーボール10個(従業員の募金により購入)を寄付しました。

また、それに加えて「企業」と「従業員とその家族」の信頼関係や連帯感を深めることを目的に「09年親子の社内芸術祭」を開催。社員やその家族から作品を募り、社内内で展示するという内容で、手刺繍や絵画、造花、クッションなど66点の応募がありました。



社会貢献プロジェクト第一弾として、青浦隱賢小学校に衣類や文房具など、学用品の寄付を行いました。

こうした活動は、今後も継続し、上海不二光学科技有限公司の伝統にまで昇華させたいと考えています。

社内では「09年親子の社内芸術祭」として社員や家族の作品66点を展示しました。



トピックス Topics

TOPICS 01 一般住宅向け太陽電池モジュールの販売開始

太陽光発電の国内市場における活況を受けて、フジプレアムも10月1日より自社ブランドの太陽電池モジュールを搭載した太陽光発電システムの販売を開始しました。フジプレアムブランド製品として、国内で一般消費者向けに商品を販売するのは初めての試みとなります。現在、早くも更なる発展を見据え、住宅メーカー様と提携を結び、当社が元来得意とする建材一体型のモジュール開発に取組むなど、さまざまな可能性を探っています。



姫路駅前の広告

TOPICS 03 フジプレアムソーラーフェアを開催&大好評

10月12日(祝・月)に光都工場でフジプレアムソーラーフェアを開催。予想を大きく上回る300名以上の方にご参加いただき、太陽光発電システムに対する関心の高さを実感させられました。当日は工場見学会、模擬の屋根を用意しての太陽電池パネルの取付け実演などを行いました。また、相談もたいへん盛況で、実際の成約こそまだですが現在も活発な商談が進行中です。プラズマテレビが2名様に当選する来場者記念抽選会も行いました。



ソーラーフェア開催



工場見学会



模擬の屋根も用意

2009 10 October

TOPICS 02 太陽電池キャラクター「フジプレSUN」が誕生

一般消費者向けにフジプレアムブランドの太陽光発電システムを販売し始めたことに合わせて、イメージキャラクターを作成しました。その名前は「フジプレSUN(サン)」、頭は太陽とその光を、体は大地を表し、生命をイメージさせる葉っぱに乗ってフジプレアムの太陽光発電システムを広めるべく世界中を訪ねます。これからさまざまな媒体に登場しますのでお見知りおきください。



TOPICS 04 白鳥小学校、大白書中学校に追尾型太陽光発電システムを寄贈

当社代表取締役社長である松本の出身校である「姫路市立白鳥小学校」「姫路市立大白書中学校」に、当社製造のトラッキングシステムを寄贈しました。出身校の発展に貢献したいという想いから進められ、授与式では各校長先生より姫路市長からの感謝状を授与されました。太陽を追いかける太陽光発電システムを通じて、子供たちの環境に対する意識づけに大きく貢献します。



追尾型太陽光発電システム

TOPICS 05 米カリフォルニアのソーラーパワー・インターナショナル09に初出展

日時：平成21年10月26日(月)から29日(木)
会場：カリフォルニア州アナハイム
アナハイム・コンベンション・センター

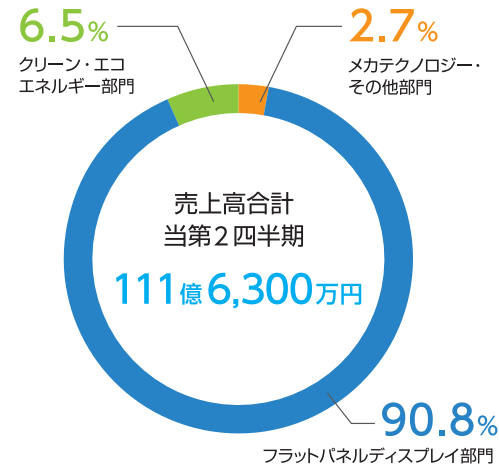
太陽電池の最大の展示会として知られる米カリフォルニアのソーラーパワー・インターナショナルに初出展いたしました。来場者数は約27,000人(昨年約17,000人)で、出展している企業数はほぼ倍増。各国、各企業の意気込みの強さがブースのサイズやデザインに反映されていました。当社もアメリカでの販売環境を一刻も早く整え、事業を展開したいと思っております。



Segment Information

第2四半期純利益は、
6億2,900万円を確保、前年比68.5%増。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や、企業の在庫調整の進展等により、景気悪化のテンポは緩やかになりつつあるものの、景気の先行きの不透明感が拭えず、厳しい環境が続きました。このような経済環境のもと、主力事業であるフラットパネルディスプレイ部門においては、受注数量が計画どおりに推移したものの、クリーン・エコエネルギー部門においては海外向け太陽光発電パネルの販売が伸びず、売上高は11,163百万円（前年同四半期比34.3%減）となりました。しかし損益に関しましては、生産ラインの改善や改造等により収益性が向上し、営業利益が667百万円（同11.3%減）、経常利益が669百万円（同8.7%減）となりました。また、課税所得の増加に伴い、税務上の繰越欠損金に係る繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等調整額を△105百万円計上したことにより、四半期純利益は629百万円（同68.5%増）となりました。



フラットパネルディスプレイ部門



第27期第2四半期売上高 第28期第2四半期売上高
149億3,500万円 101億3,200万円

営業利益7億1700万円を確保

フラットパネルディスプレイ業界の先行きは依然不透明であり、取扱製品によっては生産数量の大幅な増減が発生しながらも、総体的にはほぼ計画どおりに受注数量が獲得でき、業績は比較的堅調に推移いたしました。

また、過年度より取組んでおります生産ラインの抜本的な見直しによる、新型生産ラインの導入及び老朽化・陳腐化した生産ラインの除却等の合理化施策が効果を見せ始め、売上高10,132百万円（同32.2%減）、営業利益717百万円（同10.5%減）となりました。

クリーン・エコエネルギー部門



第27期第2四半期売上高 第28期第2四半期売上高
11億5,000万円 7億3,100万円

売上高前年比36.4%減

従来、販売の主体であった海外向け太陽光発電市場は依然厳しく、当部門の業績に影響しました。この結果、売上高731百万円（同36.4%減）、営業損失91百万円（同78百万円の営業損失）となりました。しかし国内においては、住宅用太陽光向け補助金制度の開始や、消費者のクリーンエネルギーへの関心の高まりにより活性化。これを受け住宅用太陽光発電の自社製造パネルの販売拡大を行い、また増産に伴う太陽光発電パネル製造ラインの設計に取組んでいます。

メカテクノロジー・その他部門



第27期第2四半期売上高 第28期第2四半期売上高
8億9,600万円 2億9,900万円

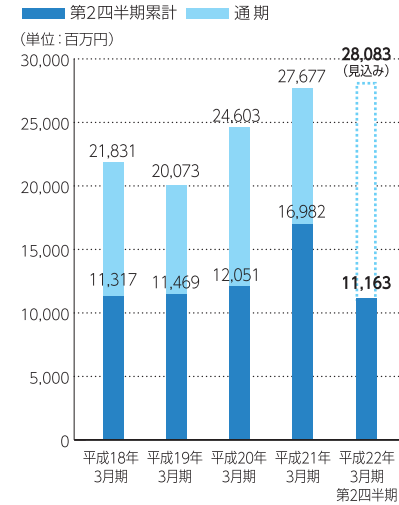
営業利益、前年比229.4%増

当部門の産業機械事業につきましては、主として社内設備であるPDP用光学フィルター製造装置や太陽電池モジュール製造装置の開発等の対応を中心に活動し、グループ全体の業績の安定に貢献いたしました。

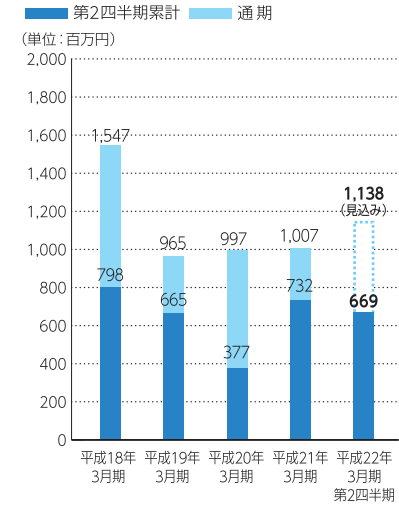
また、商事事業及び物流事業につきましては、市場経済の影響を受けながらも、ほぼ計画どおりに推移いたしました。この結果、売上高299百万円（同66.6%減）、営業利益は58百万円（同229.4%増）となりました。

Financial Highlight

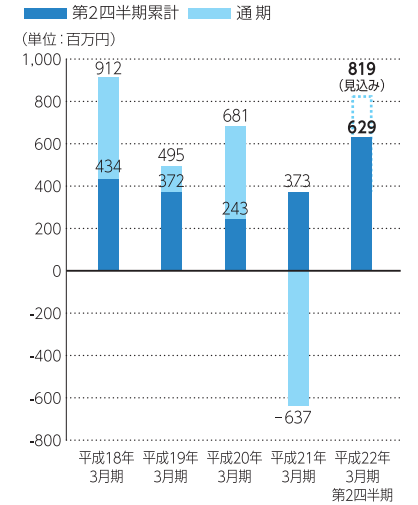
売上高



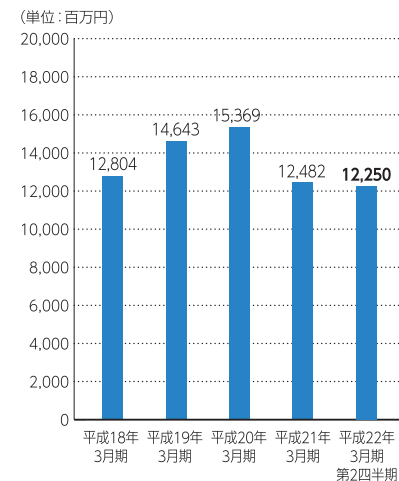
経常利益



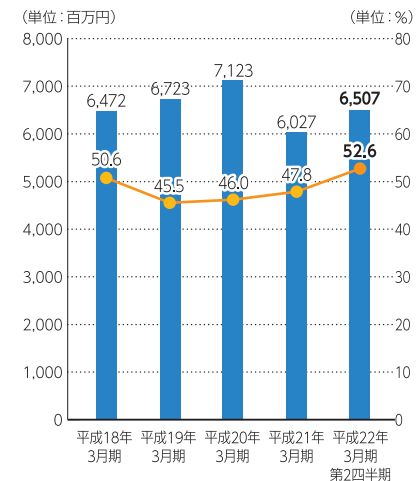
純利益



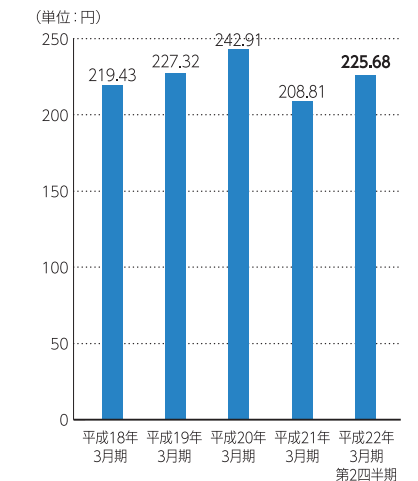
総資産



純資産・自己資本比率



一株当たり純資産



連結財務諸表
Financial Statements

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計 年度末 (平成21年3月31日)
流動資産	5,765,745	6,364,115
現金及び預金	2,095,016	2,686,103
受取手形及び売掛金	2,297,726	2,490,072
商品及び製品	523,975	147,775
仕掛品	248,665	411,376
原材料及び貯蔵品	410,476	422,083
その他	193,737	211,209
貸倒引当金	△3,853	△4,505
固定資産	6,484,365	6,118,142
有形固定資産	6,193,455	5,836,370
無形固定資産	3,997	4,324
投資その他の資産	286,912	277,447
繰延資産	46	93
資産合計	12,250,157	12,482,351

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計 年度末 (平成21年3月31日)
流動負債	4,930,087	5,235,037
支払手形及び買掛金	1,381,363	1,777,487
短期借入金	2,213,596	2,213,596
1年内返済予定の長期借入金	750,000	750,000
未払法人税等	107,266	5,813
賞与引当金	27,856	28,627
その他	450,004	459,513
固定負債	813,014	1,219,422
長期借入金	776,694	1,158,492
退職給付引当金	1,711	1,492
その他	34,609	59,437
負債合計	5,743,102	6,454,460
株主資本	6,419,920	5,962,067
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	2,842,942	2,385,089
自己株式	△863,833	△863,833
評価・換算差額等	29,018	4,577
少数株主持分	58,116	61,246
純資産合計	6,507,055	6,027,891
負債純資産合計	12,250,157	12,482,351

第2四半期 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
売上高	11,163,428	16,982,936
売上原価	9,926,997	15,581,047
売上総利益	1,236,431	1,401,889
販売費及び一般管理費	569,084	649,890
営業利益	667,346	751,999
営業外収益	42,294	22,176
営業外費用	40,305	41,428
経常利益	669,335	732,747
特別損失	48,781	86
税金等調整前四半期純利益	620,553	732,661
法人税、住民税及び事業税	99,399	354,531
法人税等調整額	△105,019	△540
法人税等合計	△5,619	353,990
少数株主利益 又は少数株主損失(△)	△3,130	5,245
四半期純利益	629,303	373,424

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	583,485	327,196
投資活動による キャッシュ・フロー	△583,575	△168,695
財務活動による キャッシュ・フロー	△591,412	△113,807
現金及び現金同等物に係る 換算差額	414	6,356
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△591,086	51,051
現金及び現金同等物の 期首残高	2,636,103	2,931,285
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,045,016	2,982,336

Profile

会社概要

(平成21年9月30日現在)

商号	フジプレミアム株式会社 Fujipream Corporation(英)
本社所在地	兵庫県姫路市飾西38番地1
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長 松本實藏
資本金	2,000百万円
事業内容	PDP用光学フィルター関連事業 光学製品関連事業 太陽光発電関連事業 生産技術システム関連事業 他
従業員数	488名(連結・臨時雇用含む)
営業所及び工場	本社 姫路工場 播磨テクノポリス光都工場／研究所／PV工場 東京オフィス
連結対象となる子会社	フジプレミアムソーラー販売株式会社(設立:平成13年4月) 上海不二光学科技有限公司(設立:平成15年9月) フジプレミアム商事株式会社(設立:平成18年6月) フジプレミアムロジスティクス株式会社(設立:平成15年10月)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行／みずほ銀行

取締役及び監査役

(平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	松本 實藏
取締役副社長	松本 守雄
常務取締役	松本 倫長
取締役	田頭 未徳
取締役	小河 昌之
監査役	藤田 和也
監査役	片岡 智彦
常勤監査役	松本 毅(社外)
監査役	木村 裕史(社外)

株式の分布状況

(平成21年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	105,000,000株
発行済株式の総数	29,786,400株
株主数	4,831名

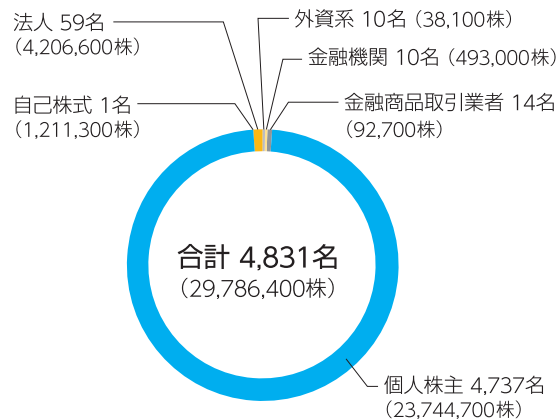
大株主の状況

(平成21年9月30日現在)

松本 實藏	15,130,700株
松本 庄藏	1,854,000株
東レ株式会社	1,560,000株
フジプレミアム株式会社	1,211,300株
旭硝子株式会社	936,000株
リンテック株式会社	936,000株
ジェイアンドエム株式会社	475,500株
松本 倫長	441,400株
松本 春代	360,000株
松本 守雄	330,000株

株式分布状況

(平成21年9月30日現在)



HARIMA-TAMBOU

播磨探訪

vol.18

全国のB級グルメが堂に集う「第4回B-1グランプリ」に参加し、エフエム秋田特別賞を受賞するなど、すっかりメジャーになった感のある「姫路おでん」。おでんとシヨウガ醤油という組合せに、最初は怪訝な顔をしていた人たちも一口食べるとあら不思議。次からはシヨウガ醤油が手放せなくなるとか。姫路おでんマップが作られるなど観光客誘致にも一役買っています。今回はそんなブームにあやかっつて、お昼から姫路おでんが食べられるお店を特集します。どちらも姫路駅から近いお店なので、この冬の姫路観光の際に足を運んで、話題の味覚をご堪能ください。

「姫路おでん」

ちよつと昼からよ



酒饌亭 灘菊



兵庫県姫路市駅前町210
姫路駅ビルフェスタ内
TEL: 079-221-3573

営業時間: 10:30AM~9:00PM
定休日: 第3木曜日(フェスタ定休日)

姫路駅から直結のフェスタ内にある灘菊は、昭和33年の開店以来、この界隈で働く人々の胃袋を支えてきました。巷では姫路おでん発祥のお店とも言われています。灘菊酒造が手がけているお店とあって、日本酒の繊細な風味を殺してしまわないよう、おでんの出汁は薄口。そこにたっぷりのシヨウガ醤油がかけられます。おすすめは自家製ぎる豆腐を作った際に出るおからを使った「おから蒟蒻」、刻んだ姫路レンコンなどの具を包みこんだ「巾着」など。誰もが必ず一本は頼むという「牛すじ肉」に、すっきりとした味わいが魅力のお酒「一辛」を合わせれば心も体もあたたまります。ほとんどのおでんの具が150円という親しみやすいお店です。



国産大豆のおからをこんやくでつないだ「おから蒟蒻」はヘルシーで女性に人気。地元の人たちが集うあたたかいお店の雰囲気、時間が経つのを忘れてしまいたい。

夢そばと姫路おでん 夢乃蕎麦



兵庫県姫路市二階町60
TEL: 079-225-2277

営業時間: 11:00AM~9:00PM
(8:30PMラストオーダー)
日曜・祝日: 11:00AM~6:00PM
(5:45PMラストオーダー)
定休日: 月曜

大根や卵などの定番の具材はもちろん美味しいですが、かまぼこや竹輪などの製造を手掛けるヤマサ蒲鉾が直営するお店だから、やっぱりここは練りものをメインに頼みたいところ。特に夢乃蕎麦でしか食べられない「海鮮かき揚げ」「鶏つくね」「えびの湯葉つつみ」などの一工夫を施したおでん種は一食の価値があります。ちなみに、こちらのお店は別添えのシヨウガ醤油につけて食べるスタイル。気分次第で通常のおでんと姫路おでんの両方の味が楽しめます。昼の11時から夜の9時まで営業しているので、夕方頃に喫茶店感覚で立ち寄る方も多いそう。地元のお酒「灘まつり」の熱燗とあわせれば、姫路を独り占めした気分が味わえますよ。



おすすめは「鶏つくね」。やわらかい肉と軟骨の食感の組合せがたまりません。最後は揚げおにぎりに自分でほぐして食べる「おにぎり茶漬け」しめるのが定番。